

令和4年第3回田原市教育委員会定例会

- 1 開会 令和4年3月17日 午後1時30分
- 2 閉会 令和4年3月17日 午後2時48分
- 3 会議に出席した委員
鈴木欽也教育長、高崎佐智江教育長職務代理者、金田真也委員
太田孝雄委員、天野千栄子委員
- 4 会議に欠席した委員
- 5 会議に出席した職員
教育部長 増山禎之
教育総務課長 大羽浩和
学校教育課長 近藤智彦
生涯学習課長 山田正勝
スポーツ課長 粕谷幸充
文化財課長 天野敏規
図書館長 是住久美子
教育総務課教育総務係長 彦坂幸子
- 6 議事日程
別紙のとおり

田原市教育委員会第 回定例会議事日程

日 時 令和4年3月17日(木)

午後1時30分

場 所 北庁舎3階 300会議室

1 会議録署名者の指名

2 教育長報告事項

3 議 題

- (1) 田原市文化財保護審議会委員の任命について
- (2) 田原市教育サポートセンターカウンセラー設置要綱の一部改正について
- (追加) 田原市いじめ問題調査委員会委員の任命について

4 報告事項

- (1) 教育委員連絡報告事項
- (2) 田原市議会第1回定例会一般質問について
- (3) 令和4年度教育方針について
- (4) 田原市教育委員会表彰について
- (5) 寄附について

5 その他

開 会 午後1時30分

教育長

本日は、ご多用のところご出席くださりましてありがとうございます。

ただいまの出席者は、5名であります。定足数に達しておりますので、令和4年田原市教育委員会第3回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

教育長

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。今回の署名者として、金田委員と太田委員のご兩名を指名させていただきますのでよろしくお願いいたします。

教育長

それでは議題に先立ち、教育長報告を私からさせていただきます。

今回につきましても、新型コロナウイルスの影響が続いていて、中止であったり書面開催に変更されたものが幾つかございます。

2月22日、東三河小中高特連携教育推進協議会が豊橋市で開催され、今年度の総括と今後のあり方について協議がなされました。この会というのが、東三河教育事務所を事務局とし、人口減少地域であるこの東三河の振興施策における教育分野での取組という、そういう位置づけの事業でございます。この地域で小学校、中学校、高等学校、特別支援学校が連携してしっかりと振興を図っていこうという取組で、県内でもここだけで行われており、そういう意味ではとても大きな意義のある組織、会であるなというように感じております。ただ、なかなか簡単なことではなくて、それぞれの立場、組織の違いがある中での取組ということになるものですから、いろいろな課題を持ちつつ、何とかそれを乗り越えながらより良いものにしていくというようなことで、数年前からやっている取組であります。今後も何とかより良い方向に行けるといいのかなということを会に出るたびに感じております。

コロナによって、本来であれば大々的に人を集めて開催していたようなものができなくなったということで、中学生向けの高等学校からの学校紹介といったものがWeb開催となりました。今までは、一部の参加者だけが参加して説明を聞いて、交流をしてということで、なかなか広げていくことができないというような課題があったわけですが、思い切ってWeb開催にしたことで、多くの子ども達が非常に興味を持って高等学校の教育活動の様子を見ることができるようになり、中学生が自分たちの進路を考えていく上でも非常に大きな学びの輪になっているのかなというように考えて感謝しています。

3月1日、田原中学出身で現在浜松修学舎高校の光島さんが、空手の全国大会の出場が決まったということで表敬訪問してくれました。

3月10日にも、東部中学校の佐藤さんと、田原中学校の巻口くんが室内陸上の全国大会へ出場が決まったということで表敬訪問してくれました。この二人については、3月12日に大会が行われまして、二人とも上位入賞ということでとても立派な結果を残しております。

部活動で非常に活躍をする子が表敬訪問してくれるたびに、部活動の今後のあり方というのを現在考えている中で、高い目標を持って本格的に取り組んでいく子ども達が、今後、部活動が形を変えていくにしろ、頑張れる場というものも、どうあるべきかというのをやはり大切にしていかなくはいけないということを強く感じておりますし、ただ全ての子が、こういうふうな形で取り組むということでもないものですから、子ども達のいろいろなニーズに応えるような、競技性ではなくて、活動を通して人としての成長を促すような、豊かな時間を子ども達に過ごさせてやる、そういった位置づけでの部活動の今後のあり方も大切であるというような、そのようなことをこういった訪問を受けるたびに感じるところでございます。

3月2日から田原市議会が開催されております。今もまだ会期中でございまして、3月22日が最終日になります。田原市議会につきましては、後ほど事務局のほうから説明があります。

3月3日、田原市内の中学校の卒業式がございました。このコロナの状況になってから3回目となる卒業式であります。しばらく前から学校への感染者がだいぶ増えているというようなことで、少し心配をしながらいたわけですが、何とか今年もコロナ対応を踏まえつつ、無事にできたということを伺っております。

3月18日は小学校の卒業式ということで、こちらのほうも各学校のほうで一所懸命準備をしてくれております。

私のほうからの報告は以上とさせていただきます。

今の報告につきまして、何かご質問等ありましたら受けたいと思いますが、いかがでしょうか。

では、ご質問等もないようですので、教育長報告事項を終わります。

教育長

ではこれより議題に入ります。

議案第6号「田原市文化財保護審議会委員の任命について」を議題といたします。

事務局の説明をお願いします。

文化財課長

文化財課です。

議案第6号、田原市文化財保護審議会委員の任命について、田原市文化財保護審議会委員を別紙のとおり任命するものとする。令和4年3月17日提出、教育長名でございまして。

提案理由ですが、田原市文化財保護審議会委員1名が任期満了とな

教育長

るため、新たに審議会委員の任命をするものです。

候補者ですが、小林一弘さん、再任になります。専門分野は地理学と歴史ということになります。任期につきましては、令和4年4月1日から令和6年3月31日までとなります。

以上です。よろしく申し上げます。

事務局の説明が終わりました。

ご質問等ございますでしょうか。

ご質問もないようですので、お諮りいたします。

議案第6号「田原市文化財保護審議会委員の任命について」原案どおり可決することに、ご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長

では、ご異議ないようですので、議案第6号につきましては、原案どおり可決いたしました。

次に、議案第7号「田原市教育サポートセンターカウンセラー設置要綱の一部改正について」を議題とします。

事務局の説明をお願いいたします。

学校教育課長

学校教育課です。

議案第7号、田原市教育サポートセンターカウンセラー設置要綱の一部改正について、田原市教育サポートセンターカウンセラー設置要綱の一部を別紙のとおり改正するものとする。令和4年3月17日提出、教育長名です。

提案の理由ですが、田原市教育サポートセンターカウンセラーについて、愛知県のスクールカウンセラーの報酬額を鑑み、報酬単価の一部改正を行うものになります。

新旧対象者をご覧ください。これまではこの第5条第2項第2号にありますように「第3条第2項第3号に規定する者」、これをもう少し簡単に申し上げますと、大学院を卒業している者、資格を特に持っていない方につきましては、これまで報酬額が4,000円というようになっておりましたが、愛知県のスクールカウンセラーの報酬額が3,500円となっておりますので、それに合わせるものに改定をするものとなります。

施行日につきましては、令和4年4月1日からというようになっております。

よろしく申し上げます。

教育長

事務局の説明が終わりました。

ご質問等ございますでしょうか。

ご質問等もないようですので、お諮りいたします。

議案第7号「田原市教育サポートセンターカウンセラー設置要綱の一部改正について」原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長

続いて報告事項に移りたいと思います。

では、教育委員の皆様方の連絡・報告事項を順次お願いいたします。
高崎委員からお願いいたします。

高崎委員

私は、2月22日に第2回東三河小中高特連携教育推進協議会、3月3日に田原中学校の卒業式に参加させていただきました。

まず初めに、2月22日の東三河小中高特連携教育推進協議会の件について申し上げます。先ほど教育長から詳細はご説明がございましたので、私のほうでは簡潔に申し上げたいと思います。

キャリア教育のビデオを見させていただいたんですけれども、それぞれ生き生きとした高校生の意見発表がございまして、中学生に希望を与えるのではないかなということを思いました。

その後、各市の教育長さんから活発なご意見がございましたけれども、本市の鈴木教育長が田原市の未来を考えて、福江中学校のコミュニティスクールや、教員の増員について熱望してございまして、なかなか難しいことではありますけれども、やはり地元の子は地元で、東三河の子は東三河で育てる、そんなことを念頭にとても意見を活発におっしゃってございました。

先ほどの教育長の報告にもありましたが、Web開催によってこんなに変わるんだということを他市の教育長の皆さんもおっしゃっていらっしゃいました。私自身、第三者として一つだけ思ったのは、こうした教育の中にマーケティングの要素、こういったことを取り入れていくともっともっと浸透していくのではないのかなということを感じた次第であります。

3月3日の田原中学校の卒業式について申し上げます。

コロナ対策の中で、校長先生をはじめ先生方は大変なご苦勞があったかと思えます。

とても感動したのが、答辞を読まれた卒業生の方が、原稿を見ないでお話されていたのです。アドリブで先生方に会釈をしてくれたときに感動して涙が出そうになったと教頭先生もおっしゃっていました。

私、この卒業式の中で一番感じましたのは、もしかしたら学校に行きたくない日もあったかもしれない、もしかしたら学校に行けない親御さんの苦しみもあったかもしれない、でもこうして毎日送り出して、楽しいこともあり、そして行けないこともあり、どちらの親御さんも大切に、その親御さんを温かく見送ってくださった校長先生をはじめ、先生方のお気持ちと親御さんのお気持ち、それを何となく感じました。それは我が子のときには感じなかった気持ちでございます。とてもいい式に出席させていただきました改めて感謝申し上げます。

以上です。

教育長

ありがとうございました。

続きまして金田委員お願いします。

金田委

2月18日の金曜日に男女共同参画推進懇話会が書面開催で行われました。

2点あったんですけども、まず一つは、男女共同参画フェスティバルについてということで、産婦人科医の宮本さんという方が、「産婦人科医が語る大人にも知ってほしい現在の性教育」というテーマで講話された様子を書面で見させていただきました。参加者を見たら65名中9割が女性の方ということで、まだまだ男の人の関心が低いのかなと、そのように感じました。

もう1点は、男女共同参画応募作品審査についてということで、中学生321作品のうち、代表の10作品を読ませていただきました。それを一通り読んだのですが、まず一番感じたのは、男女格差について社会問題として取り上げられたことによって、教育として取り上げられたということが、大きいことなのかなとすごく感じました。

また、いつだったか教育長が、教育が人を育てて、その人が市町をつくっていくということをおっしゃられたんですけども、まさにこういった教育を受けた子ども達が社会を動かしていく、男女格差を減らしていくという、そういったふうに向いていってくれればいいなと、すごく思いました。

コロナになって、自分が学校現場へ行く機会も減ったため、教育が人を育てるというのをなかなか見てなかったのですが、こういった機会に田原市の企画側でやったことで、自分が感じたことはとてもよかったなと思いました。

3月3日東部中学校の卒業式ですけども、前年の会場はステージを使用せずに真ん中に舞台を置いて、保護者と卒業生が対面式で行っていたんですけども、今年は従来どおりステージを利用して一人一人卒業証書を受け取ってという形の卒業式でした。また、卒業生答辞を聞いていて、学校の行事などを臨機応変に行い、コロナの中でも楽しかった様子を聞くと、そのとき、そのとき先生方が必死に考えて、コロナの中でもいろいろな行動を起こして、子ども達のためにやってきたのかなとそんなことが伝わってまいりました。

校長先生と話した中で、この2年間体育館の中で全校生徒を集めて1回も行動していないというのを聞いたときに、これで3年生になる中学生はずっとコロナ禍なのかなというような感じがしたので、今年3年目は、少しでもいい状態で学校生活を送れたらなとそんなふうを感じさせていただきました。

自分からは以上です。

ありがとうございました。

続きまして、太田委員お願いします。

私は、2月17日に教育委員会表彰選考委員会に出させていただきました。結果につきましては、事務局からの報告資料の中にも掲載され

教育長

太田委員

ておりますのでご覧いただければと思いますが、教育の振興に貢献した功労賞が8名、それからスポーツ・文化で優秀な成績を収めた殊勲賞が58名ということで、候補者として挙げた皆さんが受賞者として適任かどうかということを選考委員会で判断いたしました。

殊勲賞については、スポーツのほうの受賞者が多いわけですが、文化についてはいろいろなコンクールだとか大会等がなくて、候補にあがってくる方が少ないわけですが、本当は該当するんだだけでも漏れていないかどうか、私は文化協会にも在籍しておりますので、また今後も気をつけて見ていきたいというようには思っております。

3月3日に赤羽根中学校の卒業式に出席させていただきました。本年度、泉中学校と統合して第1回の卒業式ということで、学校の歴史の中で記念すべき卒業式であったと思います。コロナ禍のため大変制約が多くて、在校生は代表のみで歌もなしでということで、やや寂しい卒業式であったかと思いますが、実施することに意義があると思いますので、関係者の方々の努力でよくできたなと思います。30分の大変コンパクトな式でしたけれども、大変厳粛で緊張感のある、いい卒業式だったと思います。送辞、答辞、それぞれの代表の生徒は、大変すばらしかったですし、校長先生の言葉は、卒業生の学校生活の場面を例に挙げて、よいところ、挨拶、思いやり、場に応じた行動等、具体的な場面を挙げてお話しされていたことが大変すばらしいなというように思いました。

一つ残念だと思ったのは、卒業式というのは学校にとっては卒業の区切りであると同時に、次へのスタートですので、この数年在校生が参加できる卒業式ができないのが残念だなというように思いました。

以上です。

ありがとうございました。

最後に天野委員お願いします。

3月3日、私は福江中学校の卒業式に参加させていただきました。規模縮小のため、来賓席は私とPTA会長さんだけでした。

卒業生は118名で、伊良湖岬中学校との統合と同時に入学をされ、制服がブレザーに変わって初めての卒業式でした。中には詰襟やセーラー服の生徒さんもいました。中学校3年間のほとんどをコロナによる制限の中で過ごされた卒業生達を前に、校長先生の式辞の中にも中止ですとか、延期ですとかの学校行事や部活動などについて、申し訳なかったとお言葉がありましたが、答辞の中に、そういった中でも開催してくれた学校行事の思い出の場面を話されとかして、当たり前なことだったことに対する感謝という言葉がよく出てきて感動いたしました。

式の後、毎年記念合唱ということで歌を歌うんですけども、昨年同様今年も歌はやめて、先生方と生徒たちが作成した卒業記念映像が

教育長

天野委員

流されました。その中で、生徒一人ひとりが1枚の紙に将来の夢ですとか思い出を書いて、胸の前に持っている写真がスライドで流れているのですが、やはり一番多かったのが「ありがとうございました」という感謝の言葉が多かったです。本当に短いながらも感動する式に出させていただきました。

あと、校長室でお話を聞く中で、行事のあり方で、高校の説明会ですとか、保護者と生徒を集めるということができなくて、ユーチューブで説明会を流したところ、保護者の方たちは仕事の忙しい時期だったりするので、学校へ足を運ばずに自分の都合で見られて、在校生の達も自分の都合で見られたりとかして、先ほどの教育長の小中高特連携の報告の中にもありましたように、このコロナ禍で行事のあり方が、いい方向に変わっていくこともあるんだなということをお話ししていただきました。

以上です。

ありがとうございました。

次に、報告事項（2）田原市議会第1回定例会一般質問について、事務局から報告をお願いします。

令和4年田原市議会第1回定例会提出議案等という資料をご覧ください。今回提出された全議案等が書いてございます。3ページに教育委員会の対象となった議案でございます。文教厚生委員会、または、予算決算委員会に付託されて審議させていただきました。既に教育委員会でも議案として上がっている事項でございますが、池ノ原会館の指定管理、田原市崙山会館の指定管理、また、補正予算ということで、各委員会のほうでは可決ということで、本会議のほうで正式に可決となるかと思えます。

4ページ、30番、これが来年度、令和4年度の一般会計予算ということで、こちらのほうもご審議をいただきました。いろいろな質問もありましたが、最終的には可決ということで本会議で正式に可決されるということになります。

5ページをご覧ください。こちらからは、一般質問になります。一般質問の中に代表質問ということで、市議団から市長に対しての質問がございます。その中で市民クラブの平松議員からの質問で、令和4年度施策方針ということで教育委員会にも係る質問がございました。内容は、デジタル改革の推進ということで、GIGAスクールというのは、今後どのように進めていくのかという内容の質問でした。

今後については、小中学校にカメラなどのICT機器を導入し、さらなる授業環境の充実を図っていきます。また、これに対する課題はどうかということにつきましては、学校や教員でICT機器の活用の差があるということ。そして、子ども達への指導を行う教員に対する研修の充実を進めていきまして、スキルアップを図っていくというこ

教育長

教育部長

とで、教育長から回答をいたしました。

6 ページ、公明党田原市議団の辻議員からの質問でございます。辻議員からは、保育施設、小中学校手洗い場の自動水栓化についてという質問がございました。これについて、現状を言わせていただきまして、議員のほうとしては全部自動水栓にしたらどうかという提案でございますが、市としましては、例えばレバー式でありますとか、普通にひねるものでありますとか、その用途に合わせて、また、自動水栓については改修等に合わせて整備をしていくということです。その背景には、教育的配慮というのもございます。また、単なるコロナの感染予防だけではない、そういう意味合いもあります。しかしながらそれでも自動水栓化は進めていきますということを述べさせていただきました。

7 ページ、廣中議員から崋山劇とふるさと教育ということで、こちらのほうは崋山劇が非常に成功に終わったので、これを今後、どのように活用していくかという質問でした。こちらについては、崋山劇の台本や、DVDを活用させていただくということを答え、それからふるさと教育の今後のあり方ということも質問にございました。こちらは各課の取組を報告させていただきました。田原市でのふるさと教育は、しっかり進めておりますので、議会でもしっかり説明させていただきました。また、その中で、渡辺崋山を題材としたふるさと教育というのは、今後ふるさと教育に活用できるでしょうかという質問がございましたので、それについてはその生き方を学ぶということは活用できますという答えをさせていただきました。

次に、自由クラブの小川議員ですが、市内高等学校との協力体制と小中学校の部活動についてということでございます。こちらの市内の高等学校との協力体制というのは、今でも市内の高校との連携等もやっております。その中で必要ある支援等はしていくという、大体そのような内容のことを答えさせていただいております。その中で小川議員は、市内の高校への入学者が減っているということをすごく深刻に受け止めておられ、それで市のほうで何か支援できることはできないかということについていろいろな質問がございました。できることは市でもやっていますが、主に県のほうがやることが多いものですから、それについては県のほうでという答えをさせていただきました。

小中学校の部活動については、先ほど教育長が部活動の考え方をおっしゃられましたが、最終的に教育長さん自らお答えいただきました。その中で小川議員の質問としては、部活動は今後どうなるのかというところで、その辺りを市民に伝えるような形でいろいろな質問、部活動が休日の部活動が変わってくるということ等を話させていただきました。

いずれにしても、今回の質問というのは、市民の方が非常に関心の

あることですので、教育委員会としてはこの答弁に基づいて取り組んで行きたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

教育長

以上が議会の報告になりますので、よろしくお願いいたします。

ただいま事務局の報告がありました。今の報告につきまして、何かご質問等ございますでしょうか。

教育部長

特にないようですので、次に（３）令和４年度教育方針について、事務局から報告をお願いします。

令和４年度教育方針の資料をご覧ください。今回、来年度の教育方針として、こちらのほうに挙げさせていただきました。「未来にふみ出すふるさと教育Ⅱ」ということで全体の重点目標があり、それに基づいた各課の方針がございます。各課の方針は各課長から説明させていただきますが、まず、全体の方針について、教育長からご説明いただければと思います。

教育長

最初に私のほうから、少しお話しをさせていただきます。

「未来にふみ出すふるさと教育」という令和３年度教育方針に基づいて進めてまいりました。今回「Ⅱ」ということで、ふるさと教育を見直して、より深めていきたいという思いでつけさせていただきました。令和３年度進めてくる中で、今の状況がこのコロナの状況であったり、多くの課題を抱えている状況であったりという中で、進めていることがまだ十分やり切れてない。もっともっとしっかりと進めていきたいというような思いもありまして、「未来にふみ出すふるさと教育」という文言は継続させていただきたいと思っております。ただ「Ⅱ」というようにしたのは、同じことをただ２年続けて繰り返すということではなくて、さらにステップアップしていきたいなという、そんな思いからでございます。

「未来に踏み出すふるさと教育」というのを、令和３年度の初めのところでお話しさせていただいたと思うのですが、今のこの状況の中で、子ども達も市民の方達も非常な閉塞感の中で過ごしている。そうではなくて、やはり明るい未来が見えてくるような、あるいは今をよりよく生きていけるような、そんなような教育活動をしていきたいなという思いから「未来にふみ出す」。また、新しく教育大綱がこの令和３年度からスタートしておりますので、ちょうどスタートの年でもあるということで、「ふみ出す」というような、そんな文言を使わせていただいているところであります。

それからサブタイトルは昨年度から変わっております。

「協奏による着実な前進」となっております。「協奏」という言葉を使わせていただきました。ともに奏でる。「きょうそう」というと、よく共に創り出すとか、協働、ともに動いて働いてというような言葉がよく使われるのですが、私ちょっとここで「協奏」という言葉を選ばせていただきました。奏でるというところに何か響き合うような、あ

るいは、豊かな時が流れていくような、そのようなイメージを自分自身は持っております。部署ごとにしっかりと奏でていただいて、響き合っているような教育活動、教育委員会の全ての部署が奏でていけるといいなという、そんな思いからこの言葉を使わせていただいております。

「着実な前進」というのは、言葉だけが先行して中身がなかなか伴わないということであってはならないと思いますので、わずかでもいいですから、私たちが目指していることに協奏によって着実に進めていけるような、そんな教育委員会でありたいなという思いからサブタイトルをつけさせていただきました。

それから重点目標を三つ入れさせていただきました。

一つ目「未来に夢や希望が持てる教育施策を推進します」

これが最初に私が言った、「未来にふみ出す」というところの思いからであります。各課がこれを受けてまた考えていただいております。

二つ目「ウィズコロナの時代のなかでも、ふるさと教育の深化を図ります」

ウィズコロナは避けては通れません。これで2年が経ちましたが、まだこの対応はしっかりやっついていかないといけないというように思っております。この中で何ができるのか、何が変わっていくのか、そのことを引き続き見つめ直していかないといけないと思います。

それから「ふるさと教育の深化」、深めるという字を使わせていただきました。今までのことを、形を引き続いて進めていくということだけではなくて、本当に意味をよく考え、深めていく。本来目指しているものへ迫っていく。そのようなことができるといいなということの思い、「深化」という字を使わせていただきました。

三つ目「課題解決に向け各組織の連携をしっかりと図ります」

先ほどの協奏に当たる部分であります。今、教育委員会全体、各課が対応している課題も非常に重く大変なものも多くございます。それぞれが頑張るのはもちろんですが、それだけではやはりうまく進んでいかないとしますので、しっかりと組織間の連携を図っていくということを意識して進めていきたいと思っております。

それからこの組織というときには、教育委員会の組織同士はもちろんですが、外部の様々な組織とも私たちは関連しておりますので、そういったことも含めて各組織の連携をしっかりと深めていく、そんなふうにさせていただきます。

私のほうからは以上です。

ありがとうございます。

それでは、資料の一番下を見ていただきますと、具体的に推進すべき課題ということで、「休日の活動」の研究・実践、「学校プールのあり方」の研究とそれに関連する事業の検討、田原市DXの推進、ゼロ

教育部長

教育総務課長

カーボンの推進とあります。こちらのほうは、市の持っている課題、また、教育委員会でも大きな問題として今抱えているところをあげさせていただきましたので、これらも踏まえた上で各課が方針をつくっておりますのでよろしくお願いします。

それでは、教育総務課のほうから説明をお願いします。

それでは、教育総務課です。よろしくお願いします。

大きくは、「良好な教育環境づくり」ということで、教育環境を一層充実していきたいというように思っています。

重点目標が三つございます。

1点目、田原市総合教育大綱・教育振興計画等の着実な推進ということで、教育振興計画をはじめとする様々な計画、こういったものを推進するために教育委員会や総合教育会議などを通じて、着実に進行管理を図っていききたいと思っております。

2点目、学校施設の長寿命化対策と施設の計画的な整備・改修の推進ということで、学校未来創造計画に基づき、校舎などの長寿命化対策を推進すること。令和4年度は、特に福江小学校の校舎の改修、そして童浦小学校の体育館の改築の設計に入って、その後、順次童浦小学校の校舎のほうも改修に入ってまいります。そのほか、神戸小学校ではバリアフリー化をさらに充実する事業など色々ございますが、こういったことで施設整備のほうをしっかりとって充実させてまいりたいというように思います。

最後3点目、学校プールの集約化と効果的な運用方法の検討ということで、今年度から実践しております水泳授業の外部委託化と学校プールの集約化について、引き続き来年度も実証調査を実施したいと思っております。前回、予算のときにご説明したとおり、来年度につきましては、東部小学校、泉小学校の全授業を実証調査の対象として、さらに詳しく検証してみたいというように思っております。

あわせて、田原市東部にはコパンのプールがございますけど、西部には施設がございませんので、こちらのほうもしっかり検討してまいりたいというように思っております。

以上、教育総務課です。終わります。

学校教育課長

学校教育課です。お願いします。

まず、テーマにつきましては、「ふるさと田原で子どもがきらり輝く学校教育の充実」ということで、令和3年度は「ふるさと田原の学校で」と「の学校」というのが入っていたんですが、あえてそこは抜いた形で、学校も含めて地域なども含めた形で充実できるといいなと思って変更いたしました。

重点目標が三つあります。

一点目、「ふるさと学習」の充実とコミュニティ・スクールの推進ですが、本年度学校教育振興計画が改定されたということで、これまで

も各小中学校が、ふるさと学習に取り組んできているんですが、これを改めて見つめ直して、新たな視点で本年度取り組んできました。令和4年度については、本年度の反省を基に、さらに充実を図っていったらと思っております。

コミュニティ・スクールについては、本年度福江中学校で成果の発表がありました。このことについては、多くの学校が参考にしながら、ただいま6校ぐらいで新たに設置を考えていますので、それらの学校を中心に、学校、地域の実情に合った仕組みづくりを進めていければと思います、掲げてあります。

2点目、1人1台タブレット端末の効果的な活用と情報モラル教育の推進ということで、本年度よりタブレットが十分に活用できるような環境が整い、1年が過ぎました。本年度は、まず使ってみるということでいろいろな学校で工夫しながら使っているところですが、来年度につきましては、ただ使ってみるところから、もう一段階上げて、子ども達自身がじっくり考える時間が確保できるように、そのためにタブレット端末などを効果的に使う、そういったことを考えていけるといいなというように考えていますので、「効果的な活用」という言葉をあえて入れさせていただいております。

同時に、インターネット上での誹謗中傷とか、いじめとか犯罪など問題も心配されるところでありますので、そちらに対応していくために、情報モラル教育も同時に行っていきたいと思っております。

3点目、学校部活動の充実と業後や休日の過ごし方（休日の活動）の推進ということで挙げさせていただきました。

学校の部活動については、特に中学校の場合、休日の部活動を減らしていったら、令和7年度には平日のみというように今のところ予定をしております。今後は学校の部活動としては、平日の活動が主な活動になっていくと思っておりますので、この部活動の意義を踏まえた上で、平日の活動をより効果的で効率的な活動になるように考えていかなければならないと考えています。同時に、毎日の授業の後の時間ですとか、あるいは休日の時間、こちらが有効に活用できるように、そこでどのように過ごすか、過ごし方をいろいろ選べるように、その仕組みづくりも考えていかなければならないということで、こちらも同時進行で進めていきたいということで、3点目の重点目標を掲げさせていただいております。

学校教育課からは以上です。

生涯学習課です。

生涯学習課では、「未来につなぐ生涯学習の充実」ということで、大きな題目をつくっております。

これに準じて三つ目標がございます。

1点目、ライフステージに応じた学びの推進です。これは、幼児、

生涯学習課長

スポーツ課長

児童、生徒、青年、現役、シニア、各世代に応じた講座、体験教室などふるさとの歴史、文化、産業を生かしたふるさと学習を展開しますということで、このような題名を設けさせていただきました。

2点目、学びのための情報提供の充実です。これは、ふるさと学習を展開する上で、必要となる教材、例えばふるさとに関するデータや地域にある情報や資源を収集整理し、適切な活用や発信ができるように資料等のデジタル化を進めていきたいと考えております。

3点目、学びを支える環境の充実です。これは、田原市社会教育施設等長寿命化計画に沿った長寿命化、複合化を基本とした計画的な整備、改修を行い、施設のコストの平準化に努めて、よりよい学びを支える環境を整えていきたいということで三つ目標を掲げさせていただいております。

以上です。

スポーツ課でございます。よろしくお願いいたします。

まず、スポーツ課のテーマは、「スポーツの力で地域との絆づくり」ということで、昨年度と同じものでございます。

目標が三点あげてございます。

1点目、スポーツに親しむ機会の充実とスポーツ人口の拡大ということで、昨年、この頭に、「スポーツ大好き田原」というスローガンであります言葉を入れてあったのですがけれども、今回はあえて抜かしました。これは「スポーツ大好き田原」というのはあえて言うまでもなく、これからも続いていく言葉であるということで抜かしました。

2点目、ふるさとを体感できるスポーツイベントの開催の継続と継承ということで、ここについては開催の後の「継続」という言葉をつけ加えさせていただきました。やはりウィズコロナの時代の中でできなかったことというのがあります。そういった意味で今後は開催を継続ということを入れて、さらに継承というそういうようなことでステップアップにつながるという意味合いに入れております。例えばウォーキングについては、ふるさとを体験できるウォーキング、あるいはロゲイニングといった歩くことが主になってはしまいますけれども、そうしたふるさとを感じられるスポーツイベントの内容がここに盛りあがっているというようなイメージをいただければと思います。

3点目、各種スポーツ全国大会等の開催とおもてなしによる地域社会の活性化ということで、昨年までは各種スポーツ全国大会の開催とおもてなしというところで終わっていたのですがけれども、さらに先ほど言うようにステップアップということも含めまして、「おもてなしによる地域社会の活性化」というのがスポーツ推進計画の中にも引用されている言葉でございますので、これをつけ加えました。やはりこの具体的なイメージというのは、各種スポーツ全国大会、サーフィン、トライアスロン、あるいはオフロードトライアスロン、さらには民間

文化財課長

主導型のいろいろな全国から来る人たちの大会にも、スポーツ課として協力して一緒にやっていきたいなというイメージのものがこの3番目に含まれています。

以上でございます。

文化財課です。

スローガンといたしましては、昨年と同様になりますが、「守り伝え、感じる ふるさとの文化財の継承」ということになります。

三つの重点目標を立てさせていただいております。

1点目、ふるさとの文化財の研究調査・整理、保護管理体制の充実というようにさせていただきました。これにつきましては、田原市内に数多くある文化財を、引き続き研究調査、整理していかなければいけないというところがあります。

また、その文化財をしっかりと管理して保護して後世へ伝えていかなければいけないというところがありますので、保護管理体制の充実というところを入れさせていただきました。

2点目、博物館資料のデジタルアーカイブ化による公開と活用の推進です。

こちらのほうは、令和4年度につきまして、デジタルアーカイブ、博物館のデジタル化というところをメインにしておりまして、博物館資料をデジタル化いたしまして、いろいろなところで公開、Web上でも公開をしていきたいというように考えております。また、学校でタブレットが1人1台ということになりましたので、そういったところとも連携しながら、何かできることを博物館としていろいろな資料を公開していければということで入れさせていただいております。

また、これに伴って解説アプリ等も入れることができますので、Wi-Fi環境を整えながらデジタルアーカイブを進めていくという目標にしております。

3点目、文化財を活用した学校・地域との連携の充実強化。

これは昨年度と同様の内容にしているんですが、既に文化財課のほうでも、学校や地域と連携を進めているところですが、それらをまた充実させていきたい、それから新規でもいろいろなところと地域と学校と連携を深めていきたいというところからこの目標にさせていただいております。

以上です。

図書館です。

図書館のテーマは、「生涯読書の振興とふるさとに関する情報の編集と発信」です。

1点目は、図書館にとって一番ベースとなる業務であります、乳幼児から高齢者、障害のある人も生涯にわたって読書を楽しめる環境の整備をしていきたいと考えております。

図書館長

	<p>2点目は、田原に関する歴史・文化資源のデジタルアーカイブ化と利活用の推進ということで、連携をしてふるさと教育を進めることと、今まちづくりにとって重要なキーワードとなっているシビックプライド（誇りを持って田原で活躍していく人たち）を増やしていくために進めてまいりたいと思います。</p>
<p>教育部長</p>	<p>3点目、プログラミング講座等によるICTを使いこなす人材の育成ということで、前回の予算のところでも説明させていただきましたけれども、たはL a bというプログラミング体験コーナーを交流拠点としまして、小中学生向けのプログラミング講座、また大人向けのタブレットの使い方講座などを通じてICTを使いこなしていく市民を増やしていきたいと考えております。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>教育委員会では、ふるさと教育という共通した目標がございますので、それを達成するために教育委員会の中で話し合い、そして協力しあい、教育委員の皆様のご指導を仰ぎながら進めていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>以上です。</p>
<p>教育長</p>	<p>ただいまの事務局の説明につきまして、何かご質問等ございましたらお願いします。</p> <p>では、ご質問もないようですので、次に（4）田原市教育委員会表彰について、事務局から報告をお願いします。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>令和3年度田原市教育委員会表彰受賞者という資料をご覧ください。</p> <p>2月17日の選考委員会において、資料のとおり功労賞と殊勲賞が決まりましたので報告させていただきます。功労賞につきましては、個人8名、殊勲賞につきましては、個人32名、団体5団体で26名、計58名。全体合計人数では66名の方に各賞を贈りたいというように思っております。</p> <p>3月29日に表彰式の予定をしておりましたが、昨今こんな折ですので、表彰式のほうは中止とさせていただきます。また、受賞者につきましては、学校や推薦団体を通じて表彰状や賞品などをお渡しする予定になっておりますので、ご承知をお願いしたいと思います。</p> <p>以上で報告を終わります。</p>
<p>教育長</p>	<p>ただいま事務局の説明が終わりました。</p> <p>ご質問等ございませんでしょうか。</p> <p>ご質問もないようですので、次に（5）寄附について、事務局から報告をお願いします。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>まずは、教育関係の寄附一覧表の10番目になります。2月21日に令和4年の赤羽根小学校の厄年一同様から赤羽根小学校に図書27冊とパ</p>

イブ椅子20脚、あわせて20万円相当のご寄附をいただきました。裏面には写真が添付してございます。

図書館長

私のほうからは以上です。

次に、図書館の寄附一覧をご覧ください。

3月1日に道の駅を運営していらっしゃいます田原観光情報サービスセンター様より教育環境の充実のためということで、児童書59冊、金額で言いますと9万9,132円相当額の児童書を寄附いただきました。今後、田原市中央図書館、赤羽根図書館、渥美図書館、それと中央と渥美図書館それぞれにある移動図書館車に分けて子ども達に読んでいただけるように使ってまいりたいと思います。

教育長

ただいま事務局の説明が終わりました。

ご質問等ございませんでしょうか。

ご質問もないようですので、以上で報告事項を終わります。

教育長

次に、その他ですが、事務局から何かございますか。

教育総務課長

3月31日及び4月1日の日程につきましては、日程資料のご確認をお願いいたします。

以上でございます。

教育長

ただいまの報告につきまして、ご質問等ございますでしょうか。

特にないようですので、事務局のほうから、そのほかありませんでしょうか。

それでは、委員の皆様のほうから何かございましたらお願いします。

では、ないようですので、以上で本日の議事は全て終了いたしました。

これをもちまして田原市教育委員会第3回定例会を閉会とさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

閉 会 午後2時24分

(会議録署名人)

教育長

委員

委員